

## 病害虫防除技術情報第7号

令和4年7月1日  
三重県病害虫防除所

**斑点米カメムシ類の増加が懸念されます。  
出穂期の防除に努めましょう。**

1. 対象作物： 水稻（早期、普通期）
2. 対象病害虫名： 斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）
3. 発生状況
  - (1) 6月上中旬以降、畦畔のイネ科雑草で斑点米カメムシ類の発生が確認されています。
  - (2) 過去17年の斑点米カメムシ類の発生圃場率は増加傾向にあります（図）。
  - (3) 1か月予報（名古屋地方気象台6月30日発表）によると、気温は高く晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。
4. 防除対策
  - (1) 畦畔のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の繁殖源になりますので、畦畔の草刈りを実施しましょう。
  - (2) ただし、出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。
  - (3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
  - (4) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。

## 5. その他

(1)本年は平年より早くトビイロウンカの誘殺が確認されています。なるべく斑点米カメムシ類とウンカ類の両方に登録のある薬剤を用い、同時防除を行ってください。

薬剤は三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>で検索することができます。

今後の発生の動向に注意して下さい。

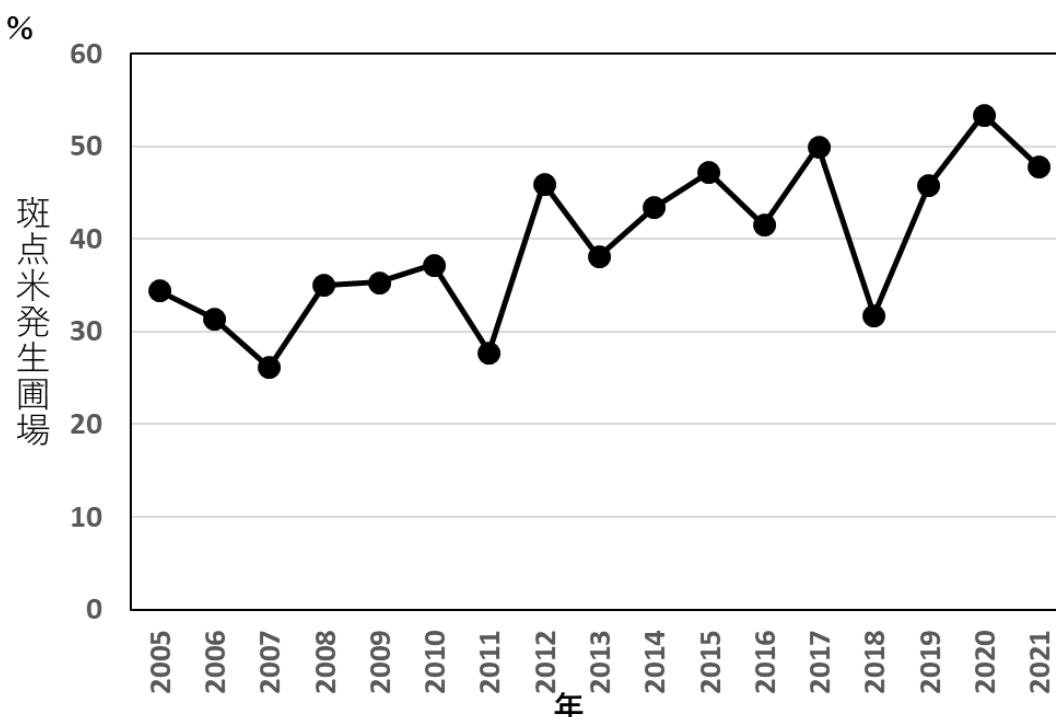


図 過去17年における防除所8月調査時の斑点米カメムシ類発生圃場率

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。